

相生山に
道路は
要らない

相生山の署名に ご協力ください

「相生山の四季を歩く会」 古川 てる子

200万人都市名古屋の天白区に広がる相生山緑地をご存知でしょうか。開発をまぬがれ孤島のように残った緑、121haの雑木林。梅畑、ミカン畑、野菜畑、住宅や寺院もあります。1年を通して樹の花々が咲き、昆虫や野鳥も姿を見せ、散策や自然観察するのに気持ちいい森です。ヒメボタルの日本有数の大生息地でもあります。



この森の真ん中に、68年前の都市計画道路が横断貫通されようとしています。2004年に着手されましたが、2009年当時の河村市長が工事を中止し、2014年には「これからは自然が大事」「道路事業は廃止し公園として整備する」としました。工事は止まったまま16年、多くの市民は相生山の道路問題は終わったと思っていました。

ところが2025年11月、広沢新市長が工事を再開すると言い出したのです。前市長が頑なに否定していた「一般車通行を可とする」条件も加えました。



市は「ホテルなど環境に配慮した道路にする」と言いますが、そんな道路はありえません。どんな工法をとっても生態系を破壊します。

開通すれば1日7,000台の車が通過する予定です。騒音、排ガス、渋滞、事故、静かな森や住宅地が被害を受けます。ダメだ困ると地元の人たちが声を上げ始めました。

「もう道路はやめたんじゃないの」「前に比べて渋滞や入り込みは減ったからつくらなくていいよ」「後継者と言って市長になったのに」「待っていた！自分も何かやらなくてはと思って。手伝います」地域で署名を集めていると、こんな声をたくさん聞きます。

これからは人口も減り、車の所有台数も減ります。道路をつくって一時の「利便性」を求めるよりは、働く人びとの健康やくらしのために税金は使われるべきです。



地球規模の異常気象の影響もあるのでしょうか、今でも森の土は乾燥化し、数年前に比べると生きものの姿が減ってきています。道路は森に、最後の一撃を与えてしまうことになります。

名古屋市の緑はどんどん減っています。森林はクーラーや空気清浄化の機能に加えて、体感して知る安らぎや楽しさを与えてくれます。自然の一部である私たち人間は、自然の緑が無くては生きていけません。

こんな思いで今、署名を集めています。皆さまの応援と賛同をお願いいたします。

さらに詳しくは、以下をご覧ください。

◇水・森・いのちを守るラブリーアース Japan
<https://lovelyearth.info/>

◇相生山からのメッセージ
<https://aioiyama.blog.fc2.com>